

県立高等学校教育改革第3次実施計画
前期実施計画の実施状況

平成24年1月現在

青森県教育委員会

目 次

1 県立高等学校における教育内容・方法	1
(1) 確かな学力を身に付ける教育の推進	
(2) 逞しい心と体をはぐくむ教育の推進	
(3) 社会の変化に対応する教育の推進	
(4) 教育活動全体を通じた進路指導の推進	
2 県立高等学校の適正な学校規模・配置	5
(1) 県立高等学校（全日制課程）の募集停止及び学級の増減の実施年度	
(2) 平成25年度における県立高等学校（全日制課程）の規模・配置（予定）	
(3) 定時制課程の状況	
(4) 通信制課程の状況	
3 社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等	8
(1) 普通科等	
(2) 職業学科	
(3) 総合学科	
4 県立高等学校と中学校や大学等との連携	10
(1) 中学校と高等学校の連携	
(2) 高等学校と大学等との連携	
(3) その他の連携・協力の推進	

1 県立高等学校における教育内容・方法

生徒一人一人に確かな学力と豊かな人間性を身に付けさせ、自らの進路実現に向けた主体的な進路選択が可能となるよう、実施計画【前期】（平成21年度～平成25年度）では、これまでに次のような教育施策を進めてきました。

（1）確かな学力を身に付ける教育の推進

① 学習習慣形成のための校種間連携教育推進事業

小学校・中学校・高等学校の連携によって、家庭と連携した一貫性のある児童生徒の学習習慣の形成や、小・中・高12年間の連続性と発展性のある学習指導などの実践研究と成果の普及に取り組みました。

研究指定地域（5中学校区）においては、小・中・高が連携して、授業研究や交流活動に取り組んだ結果、各校種の抱えている教育諸課題を共有することができるようになるとともに、交流活動を通じて児童生徒の学習意欲や自己の進路への意識を高めることができました。

② 言語力向上推進プロジェクト

学習や生活の基盤となる言語力の伸長を図るため、中学校・高等学校の国語教員の連携を強化しながら、生徒の言語能力（考える・感じる・表す）を開発し、技能（聞く・読む・話す・書く）を育成するとともに教員の指導力向上に取り組みました。

推進校とその周辺の中学校においては、国語教員合同研修会の開催、小論文集の作成等に取り組んだ結果、中・高の共通点・相違点の理解に立脚した教材作りや授業を展開するための示唆が得られるとともに、児童生徒の自分の聞きたいことを相手に伝える力や、聞いた話をまとめる力が養われました。

③ 進学力パワーアップ推進事業

高校3年生の学力向上のための学習セミナーと、教員の教科指導力向上のためのワークショップの開催、及び生徒の学力向上・教員の進学指導力向上・保護者の意識啓発等の学校における特色ある取組の支援を行っています。

この結果、生徒の学習意欲が向上し、苦手分野が克服されるとともに、教員の実践的指導力が向上しています。また、各学校における特色ある取組として、保護者対象の進路講演会の開催など、進学力向上に向けた取組の支援により、生徒及び保護者の進学に対する意識が高められています。

他に、世界へはばたけ青森っ子外国語教育推進事業、専門高校ミリオンプロジェクト推進事業 など

(2) 逞しい心と体をはぐくむ教育の推進

① ドリカム人づくり推進事業

生徒の夢の実現のために、生徒のアイデアを取り入れ、向上心や学ぶ意欲など、チャレンジする心をはぐくむ事業を企画・展開する県立学校を推進校に指定し事業を実施しています。

指定校では、生徒一人一人の豊かな人間性や確かな学力を育成するため、地域交流活動や語学力向上活動など、生徒の積極的な体験活動を促進し、各学校がそれぞれの特色を生かした独自の取組を行うことにより、「人づくり」を目指した活力ある学校づくりが推進されています。

② 高校生地域貢献推進事業

高校生が地域と連携し、本県の産業等に関する調査・研究を通して、郷土に関する理解を深化させるとともに、地域ビジネスプランの創造や地域ボランティアガイドの実施など、地域に貢献できる具体的な活動を検討・実施することにより、郷土に対する誇りを持ち、地域の課題を追求する力と解決する力を育成するための取組を行いました。

推進校では、学校の勉強や部活動以外でも未来につながる体験や経験をチャンスとして捉え、「社会に飛び出し、課題を発見し、解決への道を探る」という学びのスタイルを生かそうとする生徒が増えました。また、県内の高校生、教員及び教育関係者の参加による「高校生地域貢献サミット」において、調査・研究及び実践活動の成果を発表し、高校生による地域貢献の普及啓発に大きな成果を上げました。

③ いきいき青森っ子健康づくり事業

健康教育の在り方、進め方について協議する「健康教育調査研究協議会」を開催するとともに、エイズ、性感染症予防等の充実を図るための指導者の資質向上を目的に「性に関するセミナー」を開催しました。また、健康教育実践研究校において、学校、家庭及び地域の実態等を踏まえ、健康教育に関わる研究テーマを設定し、計画的に調査研究を実施しています。

健康教育調査研究協議会においては、「心の健康と生活等に関する調査」を実施し、現在の本県児童生徒の健康実態を明らかにしています。

また、健康教育実践研究校においては、自校の健康課題解決に向け、家庭・地域を巻き込んだ健康教育実践のため、学校保健委員会を設置し、学校医・保護者・地域住民との情報交換等を効果的に実施することで、地域を巻き込んだ充実した健康教育を実践しています。

加えて、調査結果と各実践校の取組を報告書（「健康教育実践資料」）としてまとめ、県内の全ての学校に配布し、各学校における健康教育の進め方の参考として活用しています。

他に、いじめ根絶キャンペーン推進事業、ネット見守り体制推進事業 など

(3) 社会の変化に対応する教育の推進

① 高校生スキルアッププログラム推進事業

高等学校における学校外学修への積極的な取組を促進するため、学校外の学修に関する情報の収集と提供を行うとともに、学修の積み重ねによって所定の単位を取得した生徒に認定証を交付するなど、高校生の知識や経験の幅を広げ、社会の変化に柔軟に対応し逞しく生きるための様々なスキルの向上につながる取組を展開しています。

平成22年度は、参加高校数が30校、参加生徒数が約3,000人となり、高校生が学校外学修に取り組むことの教育的効果や地域に及ぼす効果について、着実に学校・地域に理解され評価されています。

② 高校生による青森県とメイン州の交流事業

国際的視野に立って活躍できる人材を育成するとともに、本県との間に友好協定が締結されているアメリカ合衆国メイン州との相互理解を推進するため、本県の高校生とメイン州ホールデール高校の生徒を相互に派遣・受け入れを行う交流事業を実施しています。

この事業の実施によってメイン州との友好関係が促進されるとともに、参加した生徒は、ホームステイや地域住民との交流活動、社会体験プログラムに参加することによって、国際社会・異文化に対する理解を深め、英語による実践的コミュニケーション能力を向上させています。

③ 青い森水辺に学ぶプロジェクト事業

自然環境の保全に寄与する態度を育成するため、本県の豊かな自然を活用した多様な自然体験活動や、児童生徒による河川・湖沼の自然や歴史的役割についての調査・研究活動に取り組みました。

中間報告会では、各校種からの代表校による中間報告のほか、全ての参加校による情報交換を行うとともに、本県出身の理学博士による講演を行い、児童生徒の環境保全に関する理解が深まりました。

また、「青い森水辺を守る環境サミット」の開催によって、参加した児童生徒は、自然環境を大切に思う気持ちと愛着を持つようになるとともに、これから自分たちが青森県の豊かな自然を守るために何をしなければならないか、自分たちにできることは何かを考える契機とすることができました。

他に、語学指導を行う外国青年招致事業、教育情報提供事業 など

(4) 教育活動全体を通じた進路指導の推進

① 医師を志す高校生のメディカル・サポート推進事業

本県の医師不足を解消するため、青森高校、弘前高校及び八戸高校を拠点校とし、近隣の高校からも参加して、予備校講師による学習セミナーと教員向けワークショップを開催し、医学部医学科合格に必要な実力の養成に取り組んでいます。

健康福祉部との連携による医療施設見学会・医学部ガイダンスや弘前大学医学部との連携による外科手術セミナーへの生徒の参加により、医師をめざす生徒の志が育成されています。本事業のセミナーで学校を超えて生徒が切磋琢磨することにより、平成20年以降の医学部医学科合格者数は70～80人台で推移するようになっていました。(平成16年から平成19年までは30人～40人台でした。)

② 企業と学校とのハンド・イン・ハンド事業

企業の求める人材の把握を通じた雇用のミスマッチ解消や、学校教育に企業の視点を取り入れることによる高校の進路指導の充実を図るため、高校教員による1年間の長期企業等派遣研修及び研修修了者を講師として企業で得た経験を直接高校生に伝える出前講座を実施しています。

出前講座を行った学校では、企業を学校に招いて進路講演会やパネルディスカッションを実施するなど、企業の視点を高校における進路指導に取り入れることにより、進路指導の充実を図っています。また、研修修了者の高校管理職・生徒・教員・保護者への情報提供や指導・助言等により、企業の求める人材像を踏まえた進路指導が県下に広まっています。

③ 仕事力養成推進事業

高校生の望ましい職業観・勤労観の育成を図るため、各学校の高校3年間を見通した進路指導プログラムの実施を支援しています。

支援を受けた学校では、インターンシップやボランティア活動を核に、望ましい職業観・勤労観の育成に向けた取組やビジネスマナーの向上、資格取得の奨励など、各学校において、進路指導に関する多くの取組の再構築が行われ、3年間の高校教育を見通した系統的な進路指導を行っています。

他に、明日へはばたけ青森っ子キャリア教育推進事業、未来のスペシャリスト育成事業 など

2 県立高等学校の適正な学校規模・配置

(1) 県立高等学校（全日制課程）の募集停止及び学級の増減の実施年度

地区・学校		年度等					備 考
		H21	H22	H23	H24	H25 (予定)	
東 青	青森戸山			●			H24 年度末閉校 青森東に統合
	浪 岡					▼	商業科の募集停止
	青森工業	▼					
西 北	五所川原	△					普通科の1学級増
	木 造			▼			
	鱒ヶ沢				▼		
	五所川原工業			▼			
中 南	弘前南大鱒校舎			●			H24 年度末閉校
	岩 木			▼			
	尾上総合			●			全日制課程募集停止 H24 年度末閉課程
	弘前工業					▼	
上 北	三 沢	▼					普通科の1学級減
	七戸八甲田校舎	●					H22 年度末閉校
	六 戸				▼		
	百 石				▼		商業科の募集停止
	十和田工業					▼	
下 北	田名部		▼				普通科の1学級減
	田名部大畑校舎					●	H26 年度末閉校
三 八	八 戸					▼	
	八戸東			△			普通科の1学級増
	八戸南			●			H24 年度末閉校 八戸北に統合
	三 戸				▼		商業科の募集停止
	五 戸	▼					
	名久井農業	▼				△	H25 新学科を設置
	八戸工業	▼					
	南部工業					●	H26 年度末閉校 八戸工業に統合

※ △は1学級増、▼は1学級減、●は募集停止を表します。

※ 前期実施計画期間中の臨時的な学級の増減は記載していません。

(2) 平成25年度における県立高等学校（全日制課程）の規模・配置(予定)

地区 学級数	東 青	西 北	中 南	上 北	下 北	三 八
8 学級			弘前実業			
7 学級	青 森 青森東 青森工業		弘 前 弘前工業			八戸工業
6 学級	青森西 青森北 青森南 青森商業	五所川原	弘前中央 弘前南	三本木 三 沢 三本木農業		八 戸 八戸東 八戸北
5 学級	青森中央	木 造 五所川原農林	黒 石	十和田工業 三沢商業	田名部 大 湊 むつ工業	八戸西
4 学級		五所川原工業	柏木農業 黒石商業	野辺地 七 戸 百 石		八戸水産 八戸商業
3 学級		板 柳				名久井農業
2 学級	浪 岡	金 木 鱒ヶ沢 鶴 田 中 里	岩 木	十和田西 六 戸 六ヶ所	大 間	五 戸 三 戸 田 子
1 学級	・青森東 平内校舎 ・青森北 今別校舎	・木造 深浦校舎	・弘前実業 藤崎校舎		・大湊 川内校舎	・八戸北 南郷校舎

(3) 定時制課程の状況

中南地区において、平成25年度に弘前中央高等学校と黒石高等学校の定時制課程を募集停止（平成27年度末閉課程）とし、尾上総合高等学校を定時制3部制※総合学科に転換する予定です。

※ 3部制では、午前、午後、夜間の時間帯で授業を行います。

(4) 通信制課程の状況

定時制課程と通信制課程がより円滑に連携するために、望ましい指導体制の在り方について検討をしています。

3 社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等

(1) 普通科等

学校名	学科名	整備の状況	実施年度	備考
青森西	人文学科	普通科に転換	平成22年度	
弘前中央	人文学科	普通科に転換	平成22年度	
三本木	理数科	普通科に転換	平成22年度	
青森戸山	美術科	募集停止	平成23年度	

※ 普通科等とは、普通科及び普通科系の専門学科（理数科、人文学科、英語科、外国語学科、美術科、表現科、スポーツ科学科）のことで。

(2) 職業学科

① 農業科

学校名	学科名	整備の状況	実施年度	備考
五所川原農林	林業科	学科改編	平成22年度	森林科学科に改編
	農業土木科	学科改編	平成22年度	環境土木科に改編
	食品化学科	学科改編	平成22年度	食品科学科に改編
三本木農業	農業土木科	学科改編	平成22年度	環境土木科に改編
名久井農業	生活科学科	募集停止	平成21年度	
	未定	学科新設	平成25年度(予定)	

② 工業科

学校名	学科名	整備の状況	実施年度	備考
青森工業	インテリア科	募集停止	平成21年度	
	都市環境科	学科新設	平成23年度	
五所川原工業	電子科	募集停止	平成23年度	
弘前工業	電子機械科	募集停止	平成25年度(予定)	
十和田工業	機械科	学科改編	平成23年度	機械・エネルギー科に改編
むつ工業	設備システム科	学科改編	平成23年度	設備・エネルギー科に改編
八戸工業	工業化学科	募集停止	平成21年度	
	未定	学科改編	平成25年度(予定)	

③ 商業科

学校名	学科名	整備の状況	実施年度	備考
青森商業	会計科	商業科に転換	平成22年度	
	商業科 情報処理科	募集方法変更	平成22年度	商業科と情報処理科との「くくり募集」※を実施
黒石商業	商業科 情報処理科	募集方法変更	平成22年度	商業科と情報処理科との「くくり募集」を実施
三沢商業	流通経済科	商業科に転換	平成22年度	
	商業科 情報処理科	募集方法変更	平成22年度	商業科と情報処理科との「くくり募集」を実施
浪岡	商業科	募集停止	平成25年度(予定)	
百石	商業科	募集停止	平成24年度	商業教育については、普通科の教育課程の工夫で対応
三戸	商業科	募集停止	平成24年度	商業教育については、普通科に商業に関するコースを設置して対応

※ くくり募集とは、複数の学科を一括して、或いは、同系列毎にまとめて募集し、入学後のガイダンス等を経て希望学科を選択する募集方法です。

(3) 総合学科

学校名	系列名	見直しの状況	実施年度	備考
青森中央	人文科学			
	自然科学			
	健康福祉 生活科学	2系列を統合	平成23年度	生活科学系列に統合
	リビングデザイン 情報ビジネス	廃止	平成23年度	
	文化観光	廃止	平成23年度	
	美術	新設	平成23年度	
	大湊	人文科学		
自然科学				
介護福祉 スポーツ		2系列を統合し新系列設置	平成21年度	健康福祉系列とし、福祉、家庭、体育コースを設置
情報表現		変更	平成21年後	情報ビジネス系列に変更

4 県立高等学校と中学校や大学等との連携

(1) 中学校と高等学校の連携

① 中学校と高等学校の円滑な接続

「学習習慣形成のための校種間連携教育推進事業」、「言語力向上推進プロジェクト」、「世界へはばたけ青森っ子外国語教育推進事業」、「明日へはばたけ青森っ子キャリア教育推進事業」(すべて再掲)などの事業等を通して、生徒や教員による定期的な交流、中学校と高等学校の教員が連携した教材の研究・開発等、中学校と高等学校の円滑な接続が進んでいます。

② 連携型中高一貫教育

大湊地区では、中高一貫教育のメリットを生かした教育活動の展開が難しい状況にあったことから、むつ市教育委員会と協議の上、連携型中高一貫教育を平成25年度末で終了することとしました。

田子地区では、中学校卒業予定者数の更なる減少が予想されることから、引き続き検証を行っています。

③ 併設型中高一貫教育

県立三本木高等学校附属中学校における教育効果を引き続き検証するとともに、全県的な配置バランスや地区毎の将来における中学校在籍者数などを考慮しつつ、新たな併設型中高一貫教育校を設置することについて検討しています。

(2) 高等学校と大学等との連携

① 学校外における学修の単位認定

青森東高等学校と青森県立保健大学、弘前高等学校及び弘前南高等学校と弘前大学との間で協定を結び、大学における科目等履修生としての学修を高等学校において単位認定をしています。

② SSH※指定校における大学との連携

SSH 指定校である八戸北高等学校と三本木高等学校においては、大学と連携して研究活動を行い、学会での研究成果発表やコンクールへの応募を行っています。また、大学教員による講義及び実験・実習も実施しています。

※ SSHとは、Super Science Highschoolの略称です。将来の国際的な科学技術系人材を育成することを目指し、文部科学省が指定した、理数教育に重点を置いた研究開発校です。

(3) その他の連携・協力の推進

① 青森県教育委員会と弘前大学教育学部との連携・協力

平成20年2月7日に青森県教育委員会と弘前大学教育学部との連携に関する協定が締結され、県教育委員会が実施する事業に対する協力、弘前大学が実施するラボ・バス※プロジェクトにおける実施校での授業の支援、教員免許状更新講習における協力など、学校教育の充実、社会教育・スポーツの振興、大学における教員養成の充実等において、連携・協力を行っています。

※ ラボ・バスプロジェクトとは、弘前大学教育学部が所有する高度な実験機器・教材を搭載した「ラボ・バス」を用いて、大学教員及び学生が県内各地の教育現場に赴き、日頃触れることのない実験機器等を児童・生徒に体感させることで、学習への意欲を育むとともに、現職教員の指導力向上や大学の教員養成力向上を目指した弘前大学教育学部の総合的な教育力支援事業です。

② 青森県教育委員会と八戸工業大学との連携・協力

平成23年6月10日に青森県教育委員会と八戸工業大学との連携に関する協定が締結され、学校における専門教育、エネルギー環境教育をはじめとする高度・専門的な分野における教育活動、高校と大学の連携による高校生・大学生のキャリア形成支援、県民向け公開講座の開催など、大学の持つ豊富な人材や研究蓄積、高度な施設や機能を活用した連携・協力を行っています。